

静岡県東部地域企業経営動向調査

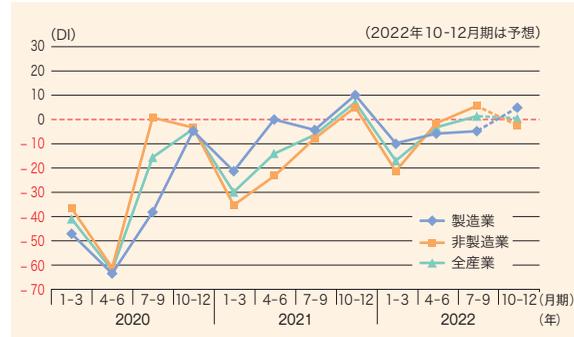
(2022年7-9月期実績、2022年10-12月期見通し)

① 業況概要(自社)

DIは連続で上昇、全産業で3期ぶりにプラス水準を回復

静岡県東部地域における2022年7-9月期の業況判断DI(全産業:前期比)は1.4と2期連続で上昇し、2021年10-12月期以来3期ぶりにプラス水準を回復した。うち、製造業は金属製品などで判断が改善し、全体では-4.8とわずかに上昇した。一方、非製造業は旅館・その他宿泊所と建設業で前期比20ポイント以上と大幅に改善し、旅館・その他宿泊所を除く卸・小売・サービスもプラス水準を維持するなど堅調で、全体でも5.6と上昇している。

2022年10-12月期の予想DI(今期比)は全産業で0.5とわずかに低下している。うち、製造業は4.9と上昇が期待されているが、非製造業では-2.4と低下が見込まれている。



業種別天気図



(2022年4-6月期、7-9月期は前期比。10-12月期は今期比予想)

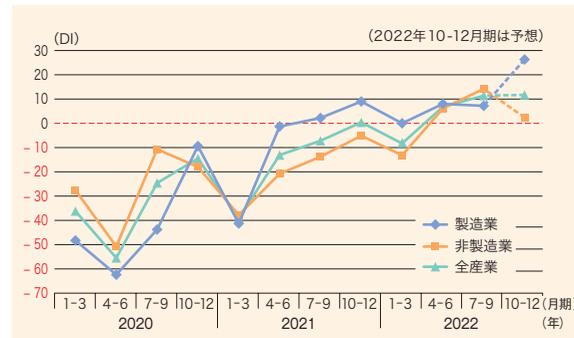
	製造業	食料品	パルプ・紙・紙加工品	一般機械器具	非製造業	卸・小売・サービス	旅館・その他宿泊所	建設
2022年4-6月期	☁️	☁️	☁️	☀️	☁️	☁️	☀️	☁️
2022年7-9月期	☁️	☁️	☁️	☀️	☁️	☁️	☀️	☁️
2022年10-12月期	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️

② 売上動向

製造業はわずかに低下、非製造業は上昇し堅調に推移

2022年7-9月期の売上動向DI(全産業:前期比)は11.4と2期連続で上昇した。うち、製造業では全体で7.2とわずかに低下したが、プラス水準は維持している。販売単価の引上げや、物流の混乱による減産の影響の一部緩和が主な要因とみられる。一方、非製造業では、旅館・その他宿泊所と建設が大幅に改善したことなどから、全体でも14.2と上昇し堅調に推移している。販売単価の引上げと、小売業や観光関連の客数増が主な要因とみられる。

2022年10-12月期の予想DI(今期比)は、全産業で11.7とほぼ横ばいだが、製造業では26.3と大幅な上昇、非製造業では2.4と低下が見込まれている。

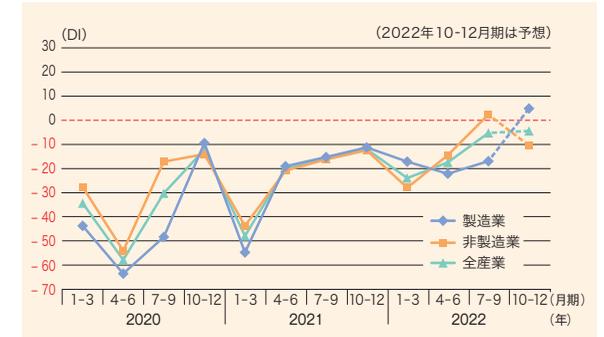


③ 利益動向

全産業で上昇、非製造業では3年ぶりにプラス水準となる

2022年7-9月期の利益動向DI(全産業:前期比)は-5.2と大幅な上昇となった。うち、製造業は全体では-16.9と2期ぶりに上昇したが、引続きマイナス水準にある。販売単価引上げを実施した企業も多いが、原材料の値上げ等による費用増を十分転嫁できていない状況とみられる。一方、非製造業は旅館・その他宿泊所、建設、その他卸・小売・サービスがいずれも改善し、全体でも2.4と2019年7-9月期以来3年ぶりのプラス水準となった。

2022年10-12月期の予想DI(今期比)は全産業で-4.4とわずかに上昇しているが、製造業で4.9と改善への期待が強いに対し、非製造業は-10.4と低下が見込まれている。



④ 経営上の問題点

「人材の育成」「求人難」「その他経費の増加」の割合が上昇

最も指摘の多い「原材料・資材・仕入商品の値上り」は前期比3ポイント低下したが、引続き高い水準にある。また、「人材の育成」「求人難」「その他経費の増加」がいずれも前

期比上昇しており、人材の不足や、幅広い商品・サービス等における値上りの影響がうかがえる。一方で、「受注・売上の停滞・減少」は前期比10ポイント低下している。

(複数回答)

	2022年1-3月期		2022年4-6月期		2022年7-9月期		順位変動
	企業数	割合	企業数	割合	企業数	割合	
1. 原材料・資材・仕入商品の値上り	109	50.5%	135	61.6%	122	58.1%	→
2. 人材の育成	78	36.1%	65	29.7%	78	37.1%	↑
3. 受注・売上の停滞・減少	97	44.9%	100	45.7%	74	35.2%	↓
3. 求人難	65	30.1%	65	29.7%	74	35.2%	→
5. 従業員の高齢化	67	31.0%	54	24.7%	57	27.1%	→
6. その他経費の増加	34	15.7%	40	18.3%	53	25.2%	↑
7. 人件費の増加	44	20.4%	41	18.7%	38	18.1%	→
8. 原材料・資材・仕入商品の入手難	33	15.3%	45	20.5%	33	15.7%	↓

(回答企業216社)

(回答企業219社)

(回答企業210社)

調査の概要

- 調査目的 静岡県東部地域(富士川以東)の景気動向と先行きを予測し、主要産業の実態を把握
- 調査対象企業 静岡県東部地域に立地する企業767社 回答企業数210社(回答率27.4%)
- 調査方法 当研究所の指定した項目につき、記名式で実績と見通しを記入するアンケート調査
- 調査対象期間 実績:2022年7-9月期 見通し:2022年10-12月期
- 調査時点 2022年8-9月

DI:ディフュージョンインデックス(Diffusion Index)の略。「上昇、増加、好転」した企業割合から「下降、減少、悪化」した企業割合を差し引いたもので、業況判断を見る指標